

河野大臣によるNATO事務総長との会談（概要）

2020年2月15日
防 衛 省

第56回ミュンヘン安保会議出席のためドイツを訪問中の河野防衛大臣は、2020年2月15日（土）16時10分（現地時間）から約15分間、ストルテンベルグ・NATO事務総長と会談を行ったところ、概要以下のとおり。

1. 冒 頭

冒頭、河野大臣から、ストルテンベルグ事務総長と2017年ぶりに再会でき嬉しく思う旨述べた。また、日本にとってNATOは「信頼できる必然のパートナー」であり、国別パートナーシップ協力計画（IPCP）に基づいた協力進展を期待する旨述べた。

これに対し、ストルテンベルグ事務総長から、同様に再会を歓迎し、引き続き日NATO間の協力進展を推進したい旨発言があった。

2. 日NATO安全保障協力

両者は、日本とNATOの間で特にサイバー分野及び海洋安全保障の分野での協力が進展していることを歓迎し、次回のIPCP改訂に向けての作業を進めていくことで一致した。

また、河野大臣から、WPS（女性・平和・安全保障）分野に関する人的交流の一環として昨年から3人目の女性自衛官を派遣していることについて言及し、同分野においても引き続き協力を続けていきたい旨述べた。

3. 情勢認識

両者は、インド太平洋地域における安全保障情勢等について、意見交換を行った。

（了）